

平成 29 年 8 月 31 日

日英共同記者会見

メイ首相の初訪日を改めて歓迎いたします。昨日の京都での夕食会に引き続き、本日もメイ首相と今後の日英関係についてじっくりと話し合うことができました。

今、私たちは、変化と不確実性の時代に生きています。法の支配に基づく国際秩序は、様々な形で深刻な挑戦を受けています。こうした中で、自由、民主主義、法の支配、そして人権といった基本的価値を共有するグローバルな戦略的パートナーである日英両国の協力が持つ重要性は一層高まっています。

北朝鮮は、我が国を飛び越えるミサイル発射という暴挙に出ました。これまでにない深刻かつ重大な脅威です。北朝鮮による核・ミサイル開発は断じて容認できません。本日、北朝鮮に対する圧力を一層強化していくこと、また、そのために中国に更なる役割を求めていくことでメイ首相と一致できたことは大変有意義であります。本日、北朝鮮に関する共同声明を発出し、こうした英国・日本、日英の断固たる決意を示したことも重要な成果であります。

本日の会談を通じてメイ首相と安全保障、経済、世界の繁栄と成長の分野の3つの柱を中心に、日英関係を新たな段階に進めていくことで一致し、日英共同ビジョン声明、安全保障協力に関する日英共同宣言、繁栄協力に関する日英共同宣言を発出しました。

第一に、安全保障について。海洋の安定化勢力同士としての自由で開かれたインド太平洋の確保のための協力を含め、安保協力を更なる高みに引き上げることで一致しました。これは、国際社会の平和と安定にとり大変意義深いことであります。

メイ首相がアジア太平洋への関与を強化していることを歓迎します。今や英国はアジア太平洋における安全保障上の重要なプレーヤーです。今後、共同訓練、防衛装備・技術協力、能力構築支援での具体的協力を一層推進してまいります。

テロ対策やサイバー分野においても、緊密な連携をメイ首相と確認しました。2019年のラグビー・ワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの成功に向け、ロンドン五輪や前回のラグビー・ワールドカップの開催を通じて豊かな経験を持つ英国とこれらの分野での知見の共有を進めることで一致しました。

東シナ海、南シナ海情勢についても議論し、力による一方的な現状変更の試みに強く反対することで一致し、法の支配に基づく国際秩序の維持のために緊密に連携していくことを確認しました。

第二に、経済分野でのパートナーシップについてです。EU 離脱決定後も日本企業の英国への新規の投資が行われていることは、EU 離脱後の英国経済を引き続き深く信頼していることの現れです。英国の EU 離脱が円滑かつ成功裏に実現することは、世界経済にとつ

でも重要であります。この観点から、メイ首相に対し、日系企業を含む企業活動への影響を最小化するよう、透明性・予見可能性の確保への引き続きの配慮をお願いしました。

英国の EU 離脱後の日英経済関係の強化に向けても、日英間の対話を一層強化していくことで一致しました。

最後に、世界の繁栄と成長のための協力です。少子高齢化、保健、女性の活躍の推進等の日英共通の課題は、他の国々も早晚直面する課題です。こうした課題への対応に関し、知見の共有のための国際的な取組を、日英が連携して主導していくことでメイ首相と一致したことは、有意義なことです。

本日、日英両国はこれまでの歴史的なつながりを土台にして、未来に向けて、地球規模の協力関係を新たな段階へと引き上げるため、大きな一歩を踏み出すことができました。ここアジアで、私たちは英国をこれまで以上に身近で信頼のおける存在に感じるようになるでしょう。その逆もしかりです。日本は英国が直面する欧州での課題、グローバルな課題に積極的に関与し、英国と連携してその解決に貢献してまいります。

日英新時代の幕開けをメイ首相と共に迎えることができたことは喜ばしいことでもあります。今後とも、メイ首相と手を携えて、日英関係を力強く前進させていきたいと思っております。